

2025年8月4日

各位

会社名 シンバイオ製薬株式会社
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 吉田 文紀
(コード番号：4582)
問合せ先 IR担当 (TEL.03-5472-1125)

**ブリンシドフォビルのライセンサーであるエマージェント社が
Mpox (エムポックス) に関する潜在的治療薬としての評価に関する総説論文を発表**

現在、当社が開発を進める抗ウイルス薬ブリンシドフォビルの開発・商業化のライセンサーである Emergent BioSolutions Inc. (以下「エマージェント社」) が、Mpox の治療薬としてのブリンシドフォビルの可能性を評価する総説論文「Brincidofovir in the Era of Mpox (エムポックス流行期におけるブリンシドフォビル)」を発表しましたので、お知らせいたします。

本論文は、査読プロセスのある学術誌『Expert Review of Anti-infective Therapy*1』に掲載されたものです。

本論文では、ブリンシドフォビルの概要や、エムポックスの治療のためのブリンシドフォビルの評価に関する議論が含まれており、具体的には以下の内容が取り上げられています。

- ブリンシドフォビルの概要、*in vitro* (試験管内) および *in vivo* (動物内) データ、ならびにヒトでの症例報告
- コンゴ民主共和国における成人および小児を対象とした使用経験の概説
- 重症の免疫不全患者に対するテコビリマットとの併用療法の可能性

なお、ブリンシドフォビルは、オルソポックスウイルス (エムポックス、天然痘を含む) を除くすべての疾患を対象に、シンバイオ製薬がグローバルの開発および販売の権利を有しております。

エマージェントのプレスリリース全文については、エマージェント社の [Web サイト](#) をご覧ください。追加の安全性情報については、TEMBEXA® (ブリンシドフォビル、本邦未承認) の製品情報を参照してください：<https://investors.emergentbiosolutions.com/news-releases>

以上

*1: <https://doi.org/10.1080/14787210.2025.2532029>

注記

エムポックス

以前はサル痘として知られていたウイルス感染症「エムポックス」は、特に中央アフリカと西アフリカにおいて地域的および世界的な流行が続いており、公衆衛生上の重大な課題となっています。2024年8月14日、世界保健機関(WHO)は、現在のエムポックスの流行を国際的に懸念される世界的な公衆衛生上の緊急事態(PHEIC)と宣言しました。これは、2024年8月13日のアフリカ疾病予防管理センター(Africa CDC)による地域非常事態宣言に続き、WHOが過去2年間で宣言した2回目のMpox PHEICとなります。米国疾病予防管理センター(CDC)は、世界中でのエムポックスの急増に関する最新の報告書を発表しています。

エマージェント社 (Emergent BioSolutions Inc.)

エマージェント社は、天然痘、エムポックス、ボツリヌス中毒、エボラ出血熱、炭疽菌、オピオイド過剰摂取による緊急事態などの健康上の脅威に対する医療対策を提供している米国のバイオ企業です。政府や政府機関と協力して、公衆衛生を脅かす下記のような課題に対応するため、治療薬の提供などを幅広く手掛けています。

- オピオイドの過剰摂取問題への対応
- 重篤あるいは致死的な生物学的脅威への対策
- 新興感染症への対応支援

エマージェント社は、プリンシドフォビルに関するライセンサーであり、現在、BARDA*に対し天然痘に限定してプリンシドフォビルを供給しています。2022年、キメリックス社と当社のプリンシドフォビルの契約は、エマージェント社に引き継がれており、この契約に基づき、オルソポックスウイルス（エムポックス、天然痘を含む）を除くすべての疾患を対象として、当社が全世界における開発・販売権を保有しています。

*BARDA：米国生物医学先端研究開発局